



中央しんきんの令和5年9月末仮決算状況について

Q

&

A

形式で

中央しんきんのキャラクター「チューちゃん」がお答えします！



Q

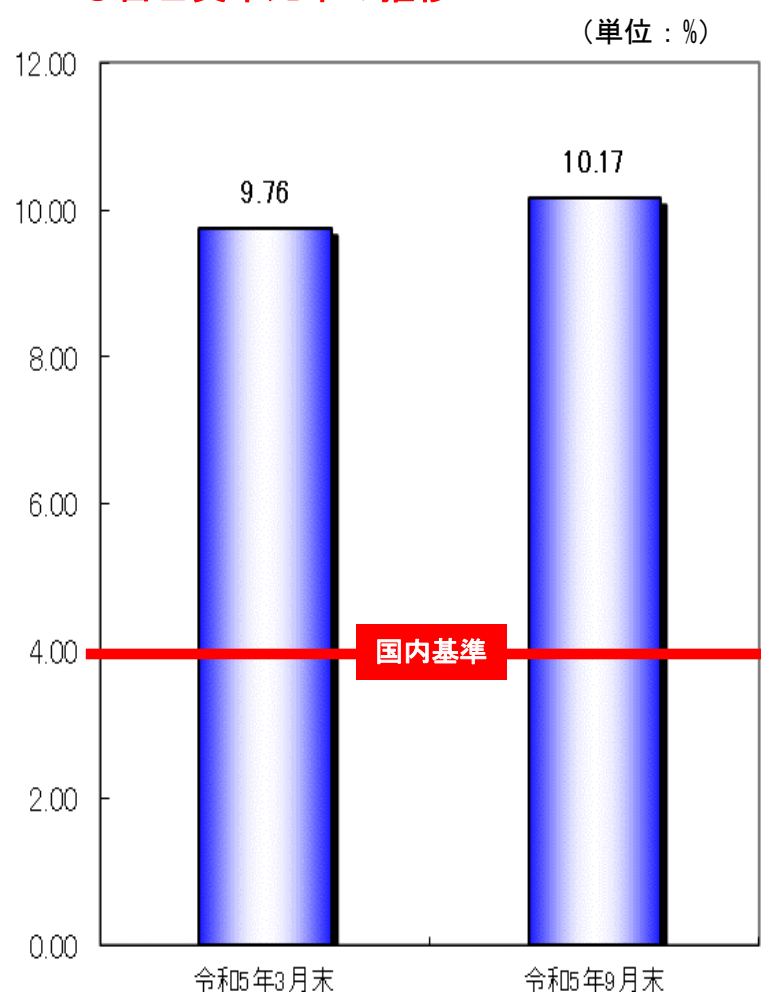
1. 金融機関の安全性や健全性の指標である自己資本比率の状況はどうか？

A

中央しんきんの自己資本比率は10.17%と国内基準の4%を上回っています。



●自己資本比率の推移



	令和5年3月末	令和5年9月末
コア資本に係る基礎項目 (A)	8,434	8,570
コア資本に係る調整項目 (B)	157	153
自己資本額 (A) - (B) (C)	8,277	8,416
リスク・アセット等計 (D)	84,810	82,687

(単位：%)

単体自己資本比率 (C) / (D)	9.76	10.17
--------------------	------	-------

●自己資本比率の算出方法

出資金や内部留保などの自己資本の額を「分子」として、貸出金などの各種の資産をリスク・ウェイトによって調整した信用リスク・アセットとオペレーショナルリスク相当額を8%で割って得た額の合計を「分母」として算出されます。

$$\text{自己資本比率 (10.17\%)} = \frac{\text{自己資本の額 } 8,416 \text{ 百万円}}{\text{信用リスク・アセット (77,576 百万円)} + \text{オペレーショナル・リスク相当額} \div 8\% (5,110 \text{ 百万円})} \times 100$$

用語
解説

●自己資本比率

自己資本比率は、金融機関の安全性や健全性を図る指標の1つで、貸出金や有価証券などの総資産（リスク・アセット）に対する自己資本の割合のことです。国内のみで営業している金融機関に求められる基準は4%とされています。

国内基準	日本国内のみで営業している金融機関	4%
------	-------------------	----

●オペレーショナルリスク

オペレーショナルリスクとは、事務事故、システム障害、不正行為等で損失が生じるリスクのことです。なお、算定にあたって当金庫は、基礎的手法を採用しています。その計算方法は次のとおりです。

$$\text{オペレーショナルリスク相当額} = \frac{\text{粗利益 (直近3年間のうち正の値の合計額)} \times 15\%}{\text{直近3年間のうち粗利益が正の値であった年数}}$$

Q

2. 不良債権の状況はどうなっていますか？

A

中央しんきんでは、貸出金等の資産について厳格な基準による査定を行い、これを基に不良債権の償却・引当を実施して、より一層の資産の健全化を進めております。また、不良債権については、貸倒引当金及び担保・保証等で十分にカバーされています。



●信用金庫法開示債権及び金融再生法開示債権の保全・引当状況

(単位：百万円)

	令和5年3月末	令和5年9月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権 (A)	934	779
危険債権 (B)	981	882
要管理債権 (C)	30	49
合 計 (A) + (B) + (C) = (D)	1,947	1,710
貸倒引当金 (E)	760	699
担保・保証等 (F)	955	811
保全額合計 (E) + (F) = (G)	1,715	1,511
※「金融再生法上の不良債権」における「貸倒引当金」には、正常債権に対する一般貸倒引当金を除いて計上しております。		
保全率 (D) / (G)	88.10%	88.32%

(注)

1. 「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」とは、破産、会社更生、再生手続等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。
2. 「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権です。
3. 「要管理債権」とは、「3カ月以上延滞債権」及び「貸出条件緩和債権」に該当する債権をいいます。

Q

3. 有価証券の運用はどうですか？

A

安全性・収益性・流動性を重視しながら特定の種別や銘柄に偏らない分散投資に努めております。



●有価証券の時価情報

■ 其他有価証券で時価のあるもの

(単位：百万円)

区 分	令和5年3月末					令和5年9月末				
	時 価	評価差額	うち益	うち損		時 価	評価差額	うち益	うち損	
株 式	95	6	6	0		100	11	11	0	
債 券	28,084	▲ 433	88	521		26,434	▲ 882	41	923	
そ の 他	13,664	▲ 1,703	168	1,871		13,519	▲ 2,147	215	2,363	
合 計	41,844	▲ 2,129	263	2,393		40,053	▲ 3,019	268	3,287	

(注)

1. 令和5年9月末の「評価差額」は、令和5年9月末時点の帳簿価格（償却原価適用前）と時価との差額を計上しております。
2. なお、満期保有目的の債券、子会社・関連会社株式に係る含み損益は以下のとおりです。

■ 満期保有目的の債券、子会社・関連会社株式で時価のあるもの

(単位：百万円)

	令和5年3月末				令和5年9月末			
	帳簿価格	含み損益	うち益	うち損	帳簿価格	含み損益	うち益	うち損
満期保有目的の債券	2,157	▲ 342	0	342	2,135	▲ 364	0	365
子会社・関連会社株式	-	-	-	-	-	-	-	-
合 計	2,157	▲ 342	0	342	2,135	▲ 364	0	365

Q

4. 収益状況はどうなっていますか？

A

令和5年9月末での収益の状況は下表のとおりです。安定した収益を確保しています。

(単位: 百万円)

	令和4年9月末	令和5年9月末
経常収益	1,633	1,712
業務純益	229	253
コア業務純益	329	253
経常利益	258	343
当期純利益	159	213

(注) 信用金庫は年1回の決算となっており、左記計数については令和5年9月末時点で試算した場合の概数を掲載しております。よって、年度末決算に準じて作成しておりますが、一部簡便な方法で集計を行っておりますので、年度末の決算とは連続していません。

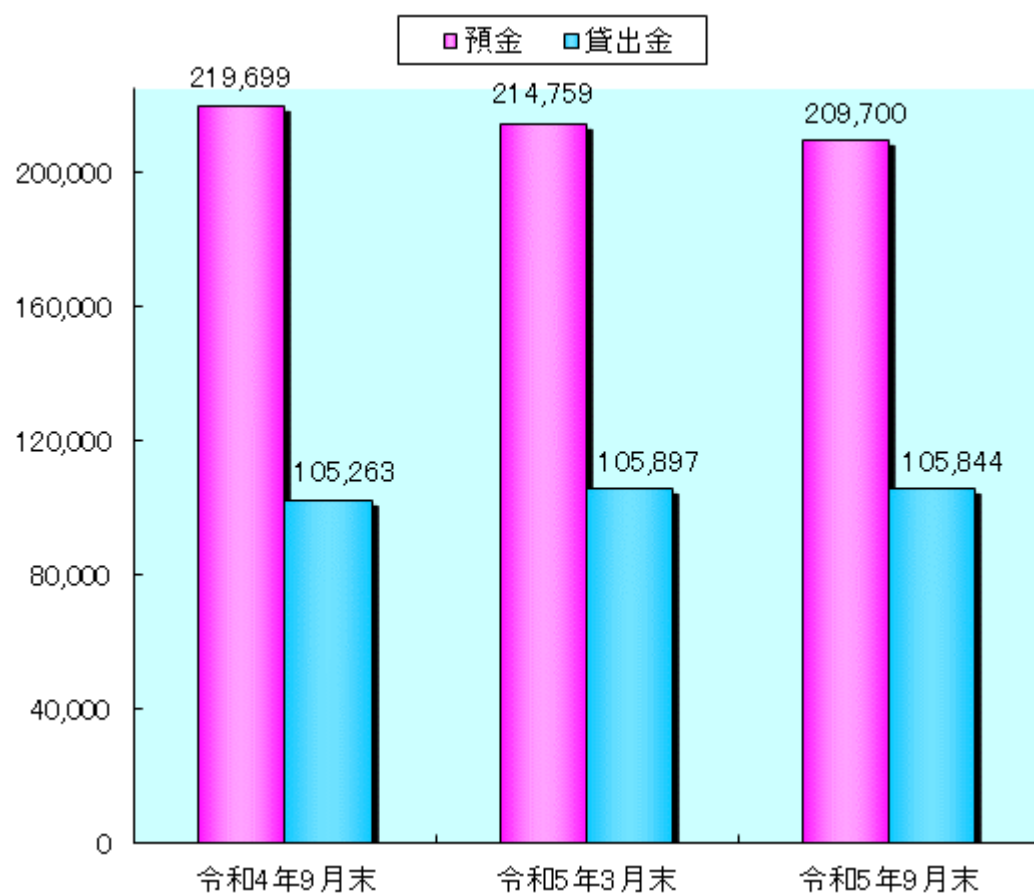
Q

5. 預金・貸出金の状況はどうなっていますか？

A

預金・貸出金の残高は、堅調に推移しております。

●預金・貸出金残高の推移



●貸出金の業種別内訳

(単位: 百万円, %)

業種区分	令和5年3月末		令和5年9月末	
	残高	構成比	残高	構成比
製造業	3,160	2.98	3,181	3.00
農業、林業	923	0.87	917	0.86
漁業	72	0.06	78	0.07
鉱業、採石業、砂利採取業	368	0.34	395	0.37
建設業	10,335	9.75	9,661	9.12
電気・ガス・熱供給・水道業	399	0.37	522	0.49
情報通信業	243	0.22	253	0.23
運輸業、郵便業	1,278	1.20	1,257	1.18
卸売業、小売業	7,201	6.80	7,262	6.86
金融業、保険業	1,692	1.59	1,680	1.58
不動産業	26,241	24.77	25,563	24.15
物品賃貸業	879	0.83	867	0.81
学術研究、専門・技術サービス業	781	0.73	762	0.71
宿泊業	291	0.27	319	0.30
飲食業	2,229	2.10	2,086	1.97
生活関連サービス業、娯楽業	1,531	1.44	1,370	1.29
教育、学習支援業	357	0.33	347	0.32
医療、福祉	3,437	3.24	3,329	3.14
その他のサービス	3,777	3.56	4,669	4.41
小計	65,204	61.57	64,529	60.96
地方公共団体	4,945	4.66	4,892	4.62
個人	35,748	33.75	36,422	34.41
合計	105,897	100.00	105,844	100.00

(注) 業種別区分は日本標準産業分類の大分類に準じて記載しております。

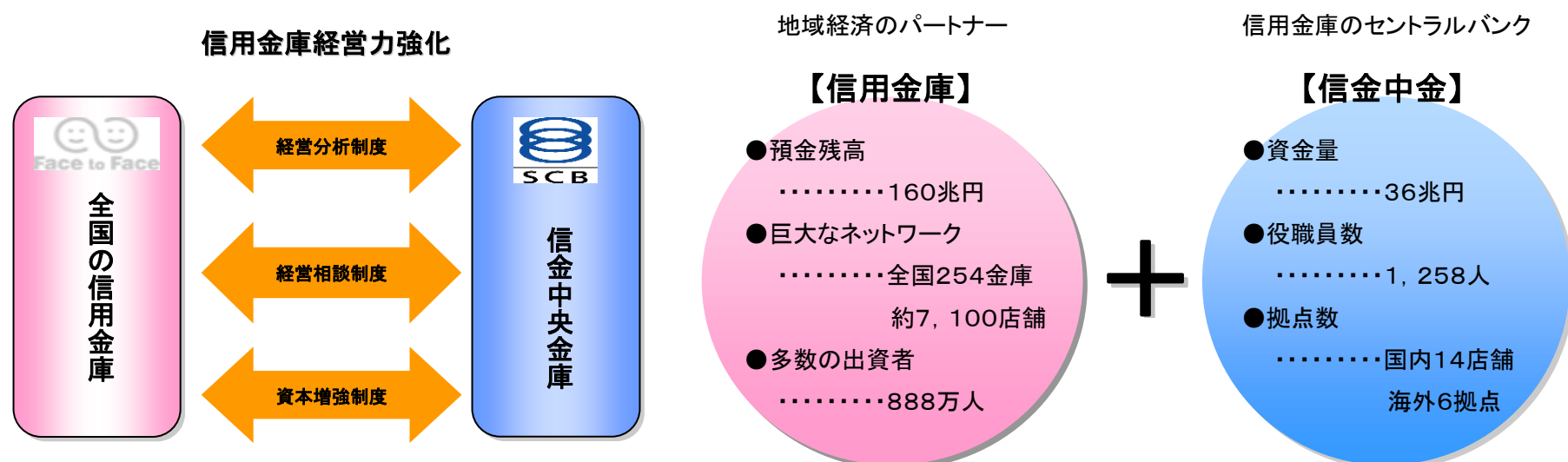
Q

6. 信用金庫業界のセントラルバンクである「信金中央金庫」について教えてください。

A

信用金庫の中央機関として「信金中央金庫」があります。信用金庫業界では、平成13年4月から「信用金庫経営力強化制度」を創設し、「信金中央金庫」が会員信用金庫の経営分析、経営相談、資本増強などで信用金庫を強力にサポートしております。このように全国に広がる信用金庫と「信金中央金庫」は、固い絆で結ばれ、お互いを強化し合い日本の金融業界の中において確固たる地位を占めております。

※下記計数は令和5年3月末現在です。



Q

7. 最近の中央しんきんの主な出来ごとについて教えてください。

A

中央しんきんの令和5年4月～令和5年9月までの主な出来ごとをご紹介します。



- 4月
 - ・ミツウロコグリーンエネルギー株式会社との提携による電気料金のコスト削減に関する支援業務開始
 - ・e-dash 株式会社との提携による脱炭素化に向けた取引先事業者へのコンサルティング支援業務開始。
 - ・ショウツー株式会社との提携によるDX支援業務開始
 - ・熊本県と「よい仕事おこしフェア実行委員会」との包括連携協定締結
 - ・ひとよくま熱中小学校」第4期開校支援
- 5月
 - ・くまもと復興応援プロジェクト関連セミナーへの参画
 - ・事業者様向け事業再構築補助金説明会の開催
- 6月
 - ・「アーティストスポット熊本」への登録
- 7月
 - ・ステップ国際協同組合との提携による「外国人技能実習生受入事業」提供開始
- 8月
 - ・株式会社バトンスとの連携による事業承継支援業務開始
- 9月
 - ・熊本市との「まちなか再生プロジェクト」連携開始
 - ・くまもと復興応援マルシェ開催への参画



e-dash(株)との提携による脱炭素化支援業務開始



“くまもと復興応援マルシェ” 熊本駅前アミュ広場にて開催協力



事業者様向け事業再構築補助金説明会の開催



ショウツー(株)との提携によるDX支援業務開始

地域活性化・お取引先支援の取組みについて



中央しんきんでは、事業者の皆様のお困りのことについて、各種経営支援メニューで課題解決のお手伝いをしております。なお、ご紹介している取り組みは一部のものです。その他事業経営のことでお困りのことやお悩みのことがありましたら、ぜひ当金庫までお気軽にご相談ください。

販路拡大支援

- ・信金中央金庫（全国の信用金庫とのネットワーク）
- ・よい仕事おこしネットワーク（全国の信用金庫お取引先とお取引先をつなぐ取組み）
- ・くまもと県南フードバレー推進協議会
- ・中小企業庁熊本県よろず支援拠点

補助金申請支援

- 事業再構築補助金
- ものづくり補助金
- 【連携先】
 - ・(株)エフアンドエム
 - ・エキスパート・リンク(株)
 - ・北浜グローバル経営(株)
- IT導入補助金
- 【連携先】
 - ・(株)リコージャパン

求人採用等支援

- 【求人採用に関する連携】
 - ・ミイダス
 - ・doda キャンパス
 - ・熊本県プロフェッショナル人材戦略拠点
 - ・ジンジブ
- 【人材活用に関する連携】
 - ・ステップ国際協同組合
 - ・スキルシフト
 - ・エスハイ

事業承継支援

- 【連携先】
 - ・熊本県事業承継・引継ぎ支援センター
 - ・株式会社M&Aの窓口
 - ・信金キャピタル株式会社
 - ・株式会社日本M&Aセンター
 - ・株式会社バトンス

創立100周年について



～おかげさまで中央しんきんは12月5日に創立100周年を迎えます～

中央しんきんは、大正12年12月5日に当時の水俣町（現水俣市）において地域商工業者並びに地域住民の経済的発展を目指して設立（「有限責任水俣信用組合」がその前身）されました。

以来、昭和26年10月の信用金庫法制定により「水俣信用金庫」に改組、昭和46年11月には、有明信用金庫（本店：玉名市）と合併して新たに熊本中央信用金庫として出発し現在に至っており、令和5年12月5日に金庫創立100年という記念すべき日を迎えます。

いつも、近くに。いつも、そばに。未来につなぐ100周年



熊本中央信用金庫

〒862-0973 熊本市中央区大江本町1番6号

☎096(366)1111(代)

ホームページアドレス <http://www.kumachu.jp/>

この半期レポートは、仮決算に基づき当金庫が自主的に開示する数値であり、監査法人の監査を受けたものではありません。